

さとう ゆみ

TEL:0561-61-6991

携帯:090-5863-9971

E-mail:info@satoyumi.net



きらめく未来づくり通信

☆さとうゆみ議会報告会☆

2/24(土)14時~16時

長久手交流プラザ1階

2018年1月発行 NO.32 ~12月議会報告~

新たな年が始まりました。1年3カ月後には市議会議員選挙が予定されており、今期の任期4年間も残り少なくなりました。市長と議会の議員は、それぞれ選挙で市民から選ばれ、互いにけん制しながら均衡を保ちつつ、ともに市政の発展のために活動しています。市長の役割は予算、条例等の議案の提出など、議会の役割は議案の議決、政策提言、市長等執行機関の監視などです。私さとうゆみは今年も議会の議員の役割を十分に果たしていけるよう、日々着実に活動することをお約束します。



びさん 長久手市消防本部から尾三消防本部へ

消防の広域化の議案を可決しました。これまでの尾三消防組合(日進市、みよし市、東郷町で構成)に長久手市、豊明市が加わり、平成30年4月1日から消防に関する事務(消防団及び消防水利に関する事務を除く)を共同処理するものです。



「長久手市消防本部長久手消防署」の名称は「尾三消防本部長久手消防署」に変わります。長久手市としては本部名称に「愛知中部消防」を提案してきましたが、協議の結果「尾三消防」に決まりました。

長久手市の消防費は、平成28年度決算で約6億8,000万円ですが、広域化後しばらくは約6億円になるということです。広域化4年後目以降は、均等割、面積割、直近3年間の救急件数割、消防費に係る基準財政需要額割の4つの指標を用いて算出します。

この4市1町では、すでに平成25年度から119番通報の受付業務や消防車、救急車等の出動指令業務を共同で行ってきました。今回の消防の広域化により、長久手市の消防力が低下することがないよう状況を注視していきます。

消費生活センターの設置条例を可決

市役所西庁舎2階に新たに「長久手市消費生活センター」を設置するための条例制定の議案を可決しました。

平成30年3月1日から月、火、水、金曜日に専門的な資格保持者が、多重債務、悪質商法、架空請求などでお困りの市民の相談に応じます。

またまた議会の途中で議案を撤回

今議会に市長提案で出された議案「長久手市都市緑化基金の設置及び管理に関する条例の一部改正」は、議会の途中で撤回されました。

長湫東部土地区画整理組合や長湫南部土地区画整理組合などからの寄付により残高約9億5,000万円となっている基金を崩して使うことができるよう、処分規定を追加するものでした。議案が付託された「くらし建設委員会」で「基金は、みどりあふれる潤いとやすらぎのあるまちづくりを推進するための経費に充てる場合に限り、処分することができる」という条文では、どんなことにも使えてしまうと異論が出ていました。

市長は、平成25年3月議会で議員報酬引き下げの議案を撤回、平成25年12月議会で「長久手市非核平和都市宣言」の議案を撤回、そして今回と、撤回を頻発しています。事前に検討を重ね、途中で撤回する必要のない議案を出すべきだと考えます。この議案は、平成30年6月以降の議会に出し直すそうです。

子育て支援施設の整備(補正予算から)

北児童館、北小校区共生ステーション...旧長湫北保育園の場所(段の上)に建設予定。平成30年度に基本設計・実施設計を行い、平成31年中に開所予定。
旧長湫北保育園→



上郷保育園、上郷児童館...東小学校隣の農村環境改善センターの敷地へ移設し、平成32年4月に開所予定。平成33年4月には児童発達支援センターが開所予定。

南児童クラブ...平成30年夏から秋にかけて南児童館から南小学校の敷地内へ移転。定員を現在の50人から80人に拡大する。

病児・病後児保育...これまで名東区内で実施されてきたが、平成30年4月からさらに市内の小児科(氏神前)で実施。

この通信の発行には一部政務活動費を使用しています(政務活動費は月1万円)

☆さとうゆみプロフィール☆ 1978年名古屋市名東区生まれ

2000年南山大学文学部卒業、損害保険会社に勤務

2011年市民活動を経て33才で長久手町議会議員に初当選

2015年2期目当選(現在、総務委員会委員長)

家族:夫、息子(中学3年生)、娘(小学3年生)

どの政党にも属さず長久手に暮らす人の立場で発言します!

教員の多忙化解消を

Qさとう 過労死ラインに達する週60時間以上の勤務をした本市の教員の割合はどのようなか。

A教育部長 多忙期の平成29年6月は中学校で43.7%、小学校で27.8%、直近の平成29年11月は中学校で27.8%、小学校で7.7%である。

Qさとう 部活動指導の要因が大きいと、外部指導員の導入を進めないか。

A教育部長 地域の人材や再任用教員の活用を研究し、教員の負担軽減につなげていきたい。

敬老祝いの入泉券は2枚に戻すべきではないか

Qさとう 満75歳以上の市民が受け取る長久手温泉「ござらっせ」の入泉券を2枚から1枚に減らした理由は何か。

A福祉部長 高齢者の増加に伴い財政負担の増加が見込まれ、行政評価の外部評価委員からも高齢者福祉事業全体の見直しを行うべきとの意見があったからである。

Qさとう 120万円のできることであり、市が60%(6,000万円)出資する第三セクターを活用する観点からも平成30年度予算では2枚に戻すべきではないか。

A福祉部長 限りある財源について選択と集中をする必要があるため、元に戻す考えはない。

市民参加の計画づくりの進捗状況は？

Qさとう 全戸配布のチラシと市のホームページで参加者を募った10の計画づくりのうち、7つは告知したとおりに開催していないことをどう考えているか。

A市長公室次長 反省する必要があると思っているが、市民と行動していく際には時間がかかることをご理解いただきたい。

Qさとう 自治基本条例(長久手市みんなで作るまち条例)素案を90万円弱かけて全戸配布したが、再び150万円かけて全戸配布した理由は何か。

A市長公室次長 市民に条例の理解を深めてもらうため、2回目は解説をつけた。

訂正とお詫び

前号NO.31の「歳入の根幹を占める市税は前年度比マイナス」の中で、都市計画税と軽自動車税の金額を逆に入れていました。正しくは都市計画税7億2107万8656円(前年度比1.7%増)、軽自動車税6528万3700円(前年度比19.4%増)です。訂正してお詫び申し上げます。

～さとうゆみの考え～

全国で教員の長時間労働が問題となっているため、本市の小中学校の教員の状況を確認しました。本市でも、文部科学省の調査の全国平均勤務時間よりは少ないものの、抜本的な改革が必要な状況です。

多忙化の大きな要因は部活動指導です。文部科学省は、外部の部活動指導員が教員に代わって部活の引率ができるよう制度改正を行ったので、導入を検討すべきだと考えます。また、給食費の徴収業務をはじめとして教員でなくてもできる業務は切り離し、教員の負担軽減を図るよう提案しました。

～さとうゆみの考え～

敬老祝いの入泉券が2枚から1枚になったことに対して残念な思いが市民の方々から届いたので、質問しました。実際に利用した人の分のみ市が支払うことや、市の第三セクターであることから効果のある施策であったと考えます。予算の配分の仕方でも解決できる問題であり、平成30年度は2枚に戻すよう求めましたが、前向きな答弁は得られませんでした。

平成29年度からは、敬老金も80歳から5歳刻みで出していたものを88歳と100歳のみに変更しました。しかし、市はこの変更を市民に十分周知せず、今回対象だと思った方々から批判を受けました。市民サービスを縮小する際には市民の理解を得る努力が欠かせないと考えます。



～さとうゆみの考え～

私は平成29年6月議会でも「市民参加の計画づくり」について取り上げましたが、開催予定時期を過ぎても開催していないものばかりでした。市役所は、相当の理由がない限り告知どおりに進める責任があると考えます。市は、パブリックコメント(市民等からの意見募集)を前に「自治基本条例素案」を全戸配布しましたが、解説が入っていなかったため再度150万円かけて全戸配布しています。計画的に進めたならばこの150万円は必要なかったのではないのでしょうか。市民参加は良いことだと考えますが、告知どおりに行わない、計画的に行わないといった市の向き合い方は改善すべきです。

3月議会の日程

2月21日開会、22日議案質疑、26日～28日一般質問、3月5日と7日予算特別委員会、12日～14日常任委員会(総務、教育福祉、くらし建設)、19日議会運営委員会、23日閉会

さとうゆみブログ「きらめく未来づくり日記」毎日更新中!